

華

素朴

春過ぎて夏来や
白たの衣千代たり
天の香具山

人はいふ
心も知らず
ふるふは
香にほひける

あしひきの
山路越えむと
するぞと
心に持ちて
安けくもなし

春過ぎて
夏来や
白たの衣
千代たり
天の香具山

春過ぎて
夏来や
白たの衣
千代たり
天の香具山

春過ぎて
夏来や
白たの衣
千代たり
天の香具山

わが里に
大雪降れし
大層の
ありしに
雪に
たふすは
天の香具山

初春令月
氣淑風和

春過ぎて
夏来や
白たの衣
千代たり
天の香具山

春過ぎて
夏来や
白たの衣
千代たり
天の香具山

春過ぎて
夏来や
白たの衣
千代たり
天の香具山

わが里に
大雪降れし
大層の
ありしに
雪に
たふすは
天の香具山

初夏

初春の令月にして
氣淑く風和
梅は鏡前の梅
蘭は扇後の香を重くす

初春の令月にして
氣淑く風和
梅は鏡前の梅
蘭は扇後の香を重くす

わが里に
大雪降れし
大層の
ありしに
雪に
たふすは
天の香具山

令和

初春の令月にして
氣淑く風和
梅は鏡前の梅
蘭は扇後の香を重くす

初春の令月にして
氣淑く風和
梅は鏡前の梅
蘭は扇後の香を重くす

初春の令月にして
氣淑く風和
梅は鏡前の梅
蘭は扇後の香を重くす

古の人に我ありや
泉浪の
古き京を
見れば悲しき

月夜

鶴

美

日常

磨

山嶺

琉

詠

恋

都

奈良

沙

木枯

紅

三輪
大宰 彰興

生駒
大宰 彰興

寒月
大宰 彰興

鶯
大宰 彰興

大和

雪ぎげ
しきぎ

白布
木下 あいな

冬の
あさの

耳成
林 とうさつき

花が
咲く